

共に支え合おう

地域づくりを進めます。

明けましておめでとーうございます。輝かしい新春を迎え、市民の皆さまのご多幸とご健康を心よりお祈り申し上げます。

平素市政にお寄せいただき、皆さまのご支援ご協力に対し、厚く御礼申し上げますとともに、一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

私は昨年10月の就任当初より、現場主義を貫くことを信条に職務を遂行し、「共に響き合える安曇野」をスローガンに市政運営に取り組んでおります。本年は、これまで市民の皆さまとお約束した政策を一つずつ実行に移す年にと考えております。

くる大変重要なテーマです。自主条例を用いた制度の統一に向け、平成23年4月を目標に検討を進めてまいります。

信頼関係を構築するために

行政は皆さまのサービス業として、時代に即した必要なサービスを提供することを役割としています。市民の皆さまと行政の信頼関係を構築するため、相手の立場に立つて考え、接することに全力を尽くしてまいります。市民生活の現場に行政がもっと近づき、共に支え合う地域づくりを進めてまいりますので、市民の皆さまの一層のお力添えをお願い申し上げます。終わりに、新しい年が皆さまにとりまして幸多い年となりますよう心よりお祈り申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

宮澤市長◎年頭のごあいさつ

安曇野市長
宮澤 宗弘



高橋美智子さん (豊科南中卒)

①観光の職につき、日本の人だけでなく外国の人にも良さを知ってもらえるようにしていきたい。②ワサビ田。川など自然が豊富。③田園風景と里山と北アルプスが調和している④たくさんの人にやすらぎ与えられるまち。多くの人が安曇野を知ってほしい。



中山兼一さん (穂高東中卒)

①常に自分を持っている人。自分らしさを持っている人や誇りを持っている人は輝いていると思うから。②どの場所もいろいろな発見があって1つに絞れない。③ゆったりとした空気が流れる所。④訪れた人も「帰りたい」と思えるような場所であってほしい。



下里晃司さん (明科中卒)

①自律と自立ができる人。自分の道を自分の足で歩きたい。②穂高川沿いの小道。歩くと、ありのままの姿を感じることができ、心が安らぎます。③自然が豊かで空気がうまい所④いつまでも美しい場所。心が帰る場所であり続けてほしい。

新成人に聞く!

安曇野市成人式が1月10日、安曇野スイス村サンモリッツ(豊科南穂高)で開かれました。式の企画運営に携わった実行委員会の代表者に話を聞きました。(質問①ご自身の抱負は②市内でお気に入りの場所は③安曇野らしさとは④安曇野市は今後、どんなまちになってほしいですか)



小岩井愛美さん (三郷中卒)

①責任と自覚を持って、社会に貢献できるような人になりたい。②室山から見える夜景。街並みなど、都会の夜景とは違った魅力があります。③四季折々の変化。道祖神。北アルプスの山並み。④幅広い世代がつながりのあるあたたかい地域。



白井洋樹さん (堀金中卒)

①社会の安全安心を守る仕事をしたい。②常念岳。私にとって、ふるさとの象徴だといえます。③自然環境が豊かで、人の心も広い。④この先も平和で安心して暮らせるまちであってほしい。

まずは、子育て支援策を

その第一歩として、新年度の予算編成に向け、福祉医療費の対象年齢を中学3年生までに拡大することを目指してまいります。

また、近隣市との均衡を図りながら保育料を見直し、改定実施に向けて取り組んでまいります。日々、懸命に子どもたちをはぐくんでいる皆さまの負担を少しでも軽減できるよう、全力を尽くす所存です。

4つの課題への取り組み

さて、市には喫緊の課題として取り組む4つの事業があります。

1つ目は、本庁舎建設問題です。市民の活動拠点や防災拠点として、必要最小限の本庁舎が必要だと考えております。本庁舎建設の資金面の鍵となる合併特例債については時間的制約があるため、昨年、就任早々に各地域で説明会を開催させていただきました。本年5月をめどに建設候補地の選定作業を進めて

まいります。

2つ目として、一般廃棄物の最終処分場の建設が挙げられます。自ら出したごみは、自ら処理処分するという自区内処理の原則のもと、処分場の確保に向け、地元で計画内容を説明する機会を与えていただけるよう誠意を尽くしてまいります。

3つ目は、安曇野菜園についてです。経営管理や栽培技術の強化が必要不可欠となっております。新しい体制で取り組む環境を整え、できる限りの改善を図ってまいります。

そして4つ目の課題として、土地利用制度の統一が挙げられます。土地利用は、市の形をつ

